

情 報

更生の花は
慈愛の土に咲き



文京区保護司会

想う、
ときには足をとめ。

誰だって、すぐには本音を話せない。
誰だって、すぐには希望を抱けない。
誰だって、すぐには変わることができない。
でも、たとえ時間がかかっても、
たとえ過去にあやまちがあっても、
誰かと一緒なら希望はある。

声をかけ、背中を押し、
あきらめずに寄り添い続ける。
信じて待つ人の存在は、
立ち直りへの大きな力になるだろう。

私たちの「待つ時間」は、
きっと誰かの「変わっていく時間」。

主唱 / 法務省

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第74回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動”
強調月間・再犯防止啓発月間です。

社明 しゃめい

更生ペンギンの
サラちゃん 更生ペンギンの
ホゴちゃん

『情報』は文京区ホームページからもご覧になれます。

INDEX

ごあいさつ 2

地域活動紹介 ぶんたねこいしか和 4

第74回 社会を明るくする運動 6

令和5年度三者懇談会 7

令和6年度文京区保護司会定時総会 8

福祉部福祉政策課地域福祉係紹介 会務報告 9

更女だより 11

ホッと一息 あとがき 12

令和六年度を迎えて

文京区保護司会 会長

亀田 一良



令

和六年度の定時総会を五月十六日に文京区民センターにて行いました。令和五年度の事業報告・

決算報告、そして監査報告、令和六年度の事業計画・予算が審議され全て承認されて正式にスタートしました。

そしてコロナ禍以降四年間行なうことが出来なかつた懇親会を、今回はお弁当形式で行ないました。今までは総会が終わった後、何もなく解散して何か物足りなさを感じていましたが、今回は来賓の皆様をはじめ多くの方々とは懇談することが出来、よかつたのではないかと思います。

さて今年度は、特別な活動を行なうつもりはありませんが、コロナ禍以前の活動に戻していけるのではないかと思います。

七月には「社会を明るくする運動」の強調月間があります。五月十四日に文京区社会を明るくする運動推進委員会が開催されました。昨年と同様に、東京ドーム周辺広報啓発活動、文京区社会を明るくする大会、文京矯正展を行なうことが決まりました。これらの活動については各構成団体の方々にも協力していただかなければなりませんのでお願いしました。今年も盛り上げていければと思っています。

話は変わりますが、昨年我々が取り扱った保護観察は二十四件、生活環境調整も二十四件でした。

これは前年と比較して保護観察で三件、生活環境調整で十三件少ない件数です。安全・安心の街、住みよい街文京を目指していくなかで、我々が取り扱う件数が少なくなることはよいことではないかと思えます。その分、犯罪予防活動、関係機関との連携、会活動等が重要になってくるのではないのでしょうか。

また、文京保護司会の皆様には、関係機関・団体の皆様と連携し、東京ドーム周辺広報啓発活動、文京区社会を明るくする大会を始めとする「社会を明るくする運動」の諸活動を、長年にわたり継続してくださっていることに心から感謝を申し上げます。

着任のごあいさつ

東京保護観察所長

杉山 弘晃



文京区保護司会の皆様、関係機関の皆様には、日頃から、更生保護の諸活動に多大なる御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、本年4月1日付けの人事異動で、保護局から転入してまいりました。皆様に地域の実情を教えていただきながら、微力を尽くしてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

まずは、伝統ある本広報誌（「情報」）に寄稿する機会をいただき、ありがとうございます。本広報誌は、昭和33年に創刊されて以来、定期的に着実に発行を重ねられ、第583号を迎えましたが、これまでの活動の積み重ねを丁寧に記録化されるとともに、様々な取組を積極的に広報されていること、とても心強く思います。

着任のご挨拶

文京区福祉部長

鈴木 裕佳



日頃より、保護司会の皆様方におかれましては、更生保護事業にご尽力いただきまして心より御礼

申し上げます。さて、私は、令和6年度より、文京区福祉部長を拝命しました。広く福祉全般に携わることになり、身の引き締まる思いです。文京区の福祉発展のため、誠心誠意取り組んでまいりますので、どうか今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年度は、昭和28年に結成された文京区保護司会が、70周年を迎えた記念すべき年度でした。犯罪や非行のない住みよい社会の実現に向け、70年という長きにわたり、歴代の保護司の皆様をはじめとした更生保護に携わる方々の思いをつなぎながら、献身的な活動に日々取り組んでこられたことに、心より敬意と感謝の意を表します。とりわけ、保護司会が中心となり展開している「文京区社会を明るくする運動」の取り組みは、着実に実を結んでいると考えております。

昨年7月には、コロナ禍を経て、令和元年度以来4年ぶりに、「社会を明るくする運動 東京ドーム周辺広報啓発活動」及び「文京矯正展」を実施しました。「社会を明るくする大会」を含めて、昨年度は久しぶりに三大事業に取り組むことができたことを嬉しく存じます。

このような新型コロナウイルスの感染拡大が猛威を振るうという未曾有の事態においても、地域の繋がりに重きを置き、何ができるのか、現代の課題に向き合いながら相談や支援、啓発活動に取り組んでおられる皆様のお姿は大変頼もしく思っております。

今年度も、地域における青少年健全育成施策の中心的な役割を担う皆様方と、子どもたちが健やかに成長することのできる地域環境をとともに創り上げてまいります。

今後とも皆様方のお一層のご支援、ご協力をと

うぞよろしくお願い申し上げます。

新年度を迎えてのご挨拶

東京保護観察所保護観察官

荒井 智深^{ともみ}



文京区保護司会の皆様、関係機関の皆様におかれましては、日頃から更生保護の諸活動にご尽力

を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年度は研修や体調不良等で不在の期間が多く保護司の先生方には多大なるご心配とご負担をおかけしました。そのような中でも、いつも温かい励ましのお言葉やご助言をいただき、常に人を支える優しさや強さをもって処遇にあたられている姿勢や、先生方の中に根付く保護司精神を垣間見ることのできる貴重な経験でもありました。今年度も引き続き文京区を担当させていただけることに感謝と喜びを感じつつ、2年目の活動目標は「地域と繋がりが、地域に繋げる保護観察官」でありたいと考えています。

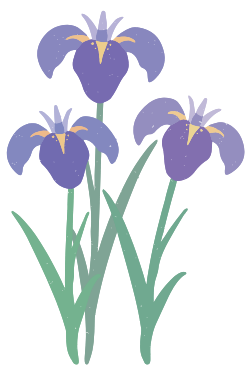
私は、転勤に転勤を重ねて保護観察官になった経験から、保護観察官の業務もいかに地域社会のネットワークを構築し、その調整役としての幅を広げるかが重要であると感じています。また、保護観察とは、単に対人援助職というだけでなく、再犯防止の目的を実現するために、その抑止要因となる具体的で効果的な手段を多くもつことが重要であり、それらは地域の社会資源を活用することに他ならないというソーシャルワークの原点に立

ち返ったからです。とは言え、1年目の他分野からやって来た私には、文京区の地域事情を把握することはおろか、保護観察所内の研修や業務をこなすことに一杯一杯となっており、理想とはかけ離れた保護観察官になってしまいました。保護司の先生方に対してもスムーズな対応ができず、気持ちだけが焦っていたように思います。

そのような状況にあっても、多方面にわたり心温かいサポートをしていただき、「無理をしないで頼ってくれていいんだよ」というお言葉に、保護観察が地域社会に支えられていることを改めて認識しました。

「地域と繋がりが、地域に繋げる保護観察官」という目標の達成は独力ではなし得ず、長きにわたり地域で生活されている先生方のお力は必要不可欠だと切に感じております。まだまだ未熟ではございますが、積極的に地域に赴き各種会合等に参画していきたいと考えておりますので、その際はご助言をいただければ幸いです。

今年度も新任保護観察官研修で不在となる期間があり、先生方にはまたご迷惑をおかけいたしますが、速やかに研修から戻り、先生方と共に更生保護活動に精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



みんなの『居場所』です

ぶんたねこいしか和

地域ボランティア代表

高嶋弘子

皆

さま、こんにちは。昨年三月にオープンした「ぶんたねこいしか和」です。傳通院から坂を下った角にある木造三階建ての、大きなガラス扉が特徴の明るい建物です。

まず、ぶんたね全体の説明をさせていただきますと、この建物は、江戸川区で精神障害者支援をしているNPO法人東京ソテリアが、助成金を得て建築したものです。一階と二階は主に地域の交流の場、また二階と三階は東京ソテリアが「子ども第三の居場所」事業を展開する場として利用しています。第三の居場所というのは、子ども達にとって、家でもない、学校でもない、三番目の場所という意味合いで、例えば公園のように誰とでも集って遊びに行かれる場所であり、同時に家の居間のように、寝転んだり休んだり、ゲームをしたり漫画を読んだり、思いのままにくつろげる場所でもあります。週に三日、日・月・水曜日に開所し、子どもの預かりをしています。

ぶんたね

は、東京ソ

テリアのほ

か、文京区社会福祉協議会、東洋大学ライフデザイン学部吉田ゼミの学生、地域ボランティアが、実行委員会を作って立ち上げ、運営しています。「ぶんたね」という耳慣れない名前は、学生の案で、ここ文京区の地から種が芽を出して大きく成長していくようにという思いを込めてつけられました。私たちも、ここを訪れてくださった方々も、みなここから成長していく種ということになるでしょうか。

オープン前に、ここをどんな場所にしたいかを話し合ったのですが、その際に出てきたキーワードが、「そこに行けば誰かがいる、何かがある」。誰もが気軽に立ち寄り、期待感に満ちた場所をめざすことになりました。

地域に広く開かれた居場所である一階は、近所のボランティアスタッフの協力を得て、月曜日から金曜日の朝十時から午後六時まで、土曜



ぶんたねこいしか和 建物外観

日は十一時から午後三時まで開所しています。また、立ち寄りのきつかけとなるように、いくつかの定期プログラムがあります。どれもお勧めの楽しいプログラムなので、ぜひ紹介させていただきます。

ぶんたねのプログラム

まず、第一・第三月曜日の十時半から約一時間、フレイル予防の体操を行っています。フレイルというのは、年齢を重ねるにつれて筋力が落ちて脆弱になってしまいう状態のことです。フレイルを防ぐための筋力トレーニングやストレッチ、脳トレも組み合わせた体操で、運動後は気分もリフレッシュ。第二・第四月曜日は、シナプロジョーを応用した脳トレと体操を行なう「健康タイム」です。脳から指令を出して手足を動かすはずなのに、自分の体が自分で自由にならない経験に、思わず笑ってしまいますが、この笑いが心身の健康にとてもよいそうです。このように月曜日の午前中は、いつでも楽しく頭と体を動かすプログラムを開催しています。

第一・第三月曜日の午後は、手芸とおしゃべりが好きな人たちが集う「ちくちく倶楽部」です。自分で好きな作品作りをしてもよし、他の人と同じものを作ってもよし。ある人がミシン



ツキイチ防災 「防災食を試食してみよう」

を出して縫い物をする横で、編み物を教わる人がいたり、アクセサリー作りの材料のボタンを選ぶ人がいたり、手ぶらで参加できる自由で気楽な集まりです。

第一・第三木曜日の午後には、「レッツ☆笑てがみ」という絵手紙のプログラムがあります。絵手紙の「え」が笑という字になっているのが注目。絵手紙の素敵ところは、うまく描けなくても、その人なりの味が表現されること。その人にしか描けない、世界でたった一枚の絵手紙ですから愛着もひとしお、描き終わると思わず笑顔に。

第二・第四木曜日午前中の「朝ヨガ」は、二階で開催していますが、限られたスペースのため一度にできる人数は六名まで。人気があり、申込・抽選制、前半・後半の二部制になっています。そして、第二土曜日は「子ども食堂」の日。十一時半から十三時半まで、予約制で無料の昼食を提供しています。

このほかにも、絵本サロンの「えんにち屋」、懐かしい歌を皆でうたう「HAPPY♡音ひろば」、「初めての親子ヨガ」、「詩を読む会」、「ツキイチ防災」など、ぶんたねにはいろいろな定期プログラムがありますので、面白そうと思われた方、ぜひ立ち寄ってご参加くださいませ。

楽しい企画イベントもいっぱい

これらの「定期」プログラムとは別に、「不定期」に行われる学生企画のイベントや、ソテリア主体の「さくらんぼカフェ」、他団体とのコラボイベントなども行っています。東洋大の学生が企画から運営までを担うイベントは、これまで子ども向けの「ミニ縁日」と高齢者対象の「ひなまつり」をやりました。「さくらんぼカフェ」は、居場所に集う子ども達がお互いに仲良くなり、学校や家庭で悩みが生じた時に寄り添える関係を作るために企画されました。今の子ども達は、親子の関係性がとても濃く、親からの管理が強いように見受けられます。子ども同士でぶつかったり、譲り合ったり、ルール

作りをしたりと、子ども自身が互いに関係性を築いていく体験をするためには、親の干渉のない時間が必要なのではないかと感じています。

ぶんたねは、ご紹介した定期プログラムのように趣味を

きっかけにして積極的に人と関わる交流の場として利用していただくほか、何もない時間帯に自分だけの時間を過ごしたり、放課後お友だちと一緒に宿題をしたり、お茶を飲んだりおやつを食べたりと、様々な方たちが思い思いに過ごす場所となっています。言葉を交わすうちに、抱えている悩みが垣間見えることもあり、そんな時には社協のスタッフも同席して話を聞きします。

今後は、今増えつつある不登校の子どもや、生きづらい課題を抱えて地域で孤立しがちな方などが、安心して時間を過ごせる居場所、障害のあるなし、年齢に関らず、どんな方でも気軽に集える場所になっていかれるよう、一人ひとりの出会いを大切に、ほどよい距離感で寄り添う関係を築いていきたいと思っています。

ぶんたねこいしか和に、どうぞいらしてください。



さくらんぼカフェ 「自分だけのクリスマスケーキを作ろう!」

第74回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。文京区では「文京区社会を明るくする運動推進委員会」を組織し、例年地域に根ざした運動を実施しています。

犯罪からの立ち直りには本人の努力はもとより、周りの人の応援や地域の中に「居場所」があることが大きな後押しになります。立ち直ろうとする人を受け入れ、支える方法はさまざまです。何が出来るかを一緒に考え、出来ることから始めてみましょう。

文京区社会を明るくする運動推進委員会（構成 30 団体）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ・文京区 | ・文京区町会連合会 |
| ・文京区保護司会 | ・文京区民生・児童委員協議会 |
| ・文京区更生保護女性会 | ・文京区社会福祉協議会 |
| ・文京区青少年健全育成会(9地区) | ・文京区内警察署少年補導員連絡会(4地区) |
| ・文京区立小学校長会 | ・防犯協会(4地区) |
| ・文京区立中学校長会 | ・文京区青少年委員 |
| ・文京区立小学校PTA連合会 | ・文京区商店街連合会 |
| ・文京区立中学校PTA連合会 | ・東京青年会議所文京区委員会 |
- （順不同）

東京ドーム周辺広報啓発活動

日時：令和6年7月6日（土）15時45分～

* 少雨決行

場所：東京ドーム周辺等

* セレモニーはラクーアガーデンステージ

内容：啓発用絆創膏・ティッシュ等を配布し、運動の趣旨を呼びかける。



文京矯正展

日時：令和6年7月11日（木）～13日（土）
9時30分～16時（最終日のみ15時まで）

会場：文京シビックセンター地下2階
区民ひろば

内容：刑務所作業製品の展示・販売



文京区社会を明るくする大会

日時：令和6年7月14日（日）13時開場 13時30分開会

会場：文京シビックホール 小ホール

内容：(1) 青少年の意見発表（文林中・茗台中・本郷台中）
(2) 都立大塚ろう学校による活動発表



写真はすべて昨年度の様子です。いずれも状況に応じて中止・延期、または規模を縮小する場合があります。

保護司会・更生保護女性会・東京実華道場 令和5年度三者懇談会

ネットワーク部長 白石 英行

日時 令和6年3月12日(火) 18時30分～
場所 文京区民センター2A
テーマ 更生保護施設 ステップ押上について



ステップ押上外観パース



令

和5年3月、湯島で活動して

いた更生保護施設ステップ竜岡が老朽化により81年の歴史

に幕を閉じ、更生保護施設ステップ押上と統合され、更に本年9月竣工に向けて改築中です。今後のステップ押上の運営について、更生保護法人東京実華道場 森山理事長と倉住職員にハード面とソフト面について講演を頂きました。

平成18年をピークに受刑者数は減少にあり、更生保護施設は全国に102施設、都内18施設有り、経営状況は厳しいものがある中で、改築に当たり、時代ニーズに対応する為にハード面では、定員数を38名から30名に変更し、個室ユニット、自炊が可能な食堂、感染症対応として東西を分離できる設計、バリアフリー対応としてエレベーターを設置されました。更に町会と施設利用に関する協定書を締結する予定であり、集会室やAEDなどを設置して地域連携も図り、利用者に心地よい場を用意されており、この間のご苦勞に敬意を表するものです。



ソフト面では、改築中に伴い他の施設に転向している立場から、倉住職員より処遇の相違点について①職員構成 ②社会に対応するための生活指導 ③貯蓄や金銭管理の指導 ④就労に向けた指導や援助 ⑤更生保護施設退所後の住居の指導 ⑥福祉や医療機関の橋渡し ⑦退所後のフォローアップに着目し、それぞれのアプローチについてご報告を頂き、施設それぞれの手法により運営されていることを学びました。

ステップ押上では利用者の再出発を見守る為に、再犯を防ぎ、働き生き続ける環境をピグマリオン効果(他者から期待されると期待に沿った成果を出す傾向にあるという心理学用語)を大切に傾聴し、必要とされる施設を目指す理念に期待をするものです。

保護司会23名、更生保護女性会6名、東京実華道場2名、文京区BBS会1名の参加のもと、本講演は対象者に対応する時に必要な心構えをも得た時間となりました。

令和6年度文京区保護司会定時総会・懇親会
 日 時：令和6年5月16日（木） 16時開会
 場 所：文京区民センター2A

出席者：71名（保護司49名 来賓22名）

来 賓：

文京区長、区議会議長、東京保護観察所長、文京区担当保護観察官、文京区更生保護女性会（会長・副会長）、所轄警察署、区立小学校長会長、区立中学校長会長、青少年委員会会長、町会連合会会長、文京区福祉部長、福祉部福祉政策課長、福祉部福祉政策課地域福祉係（係長・職員）、町友会（支部長・会員）



多

くの来賓、保護司会員出席のもと「開会の言葉」「保護司信条唱和」に始まった令和6年度定時総会。出席者の中から選出された森山秀実議長の進行により、

- ・令和5年度事業報告
 - ・令和5年度歳入歳出決算報告
 - ・令和5年度監査報告
 - ・令和6年度事業計画案
 - ・令和6年度歳入歳出予算案
- すべての議案が満場一致で承認されました。

来賓の皆様からは、日頃の保護司・保護司会活動への労いのお言葉、励ましのお言葉をいただき、文京区における保護司の存在意義、役割を再認識するとともに、保護観察など保護司としての活動と、「社会を明るくする運動」など再犯防止に関わる活動や関連団体との交流・関係構築など保護司会としての活動をともに邁進すべく決意を新たにする年度の始まりとなりました。

総会後は同会場にてコロナ禍以降初めてとなる懇親会を開催。成澤区長はじめ来賓の皆様からのお言葉、乾杯に始まり、三段重のお弁当をいただきながらの和やかな歓談となりました。

（総務部 西川素子）



懇親会



福祉部福祉政策課 地域福祉係の皆さん



【後列】横川公子さん 持田有佳里さん 佐藤快さん 森由美子さん 中嶋しおりさん
【前列】係長 宮原駿一さん 課長 木村健さん 安藤浩子さん

会務報告

■令和6年度定時総会・懇親会

令和6年5月16日(木) 16:00～18:30
於…文京区民センター2A
出席者…49名 他22名
令和5年度事業、会計、監査報告
令和6年度事業計画、予算案承認
(伊藤記)

■第Ⅲ期定期例研修

令和6年2月8日(木) 14:00～16:30
於…文京区民センター2A
出席者…38名
講師 荒井保護観察官
保護観察における面接の意義及び目的
(水木記)

■第1回自主研修

令和6年5月28日(火) 18:00～20:30
於…文京シビックセンター4Fシルバーホール
出席者…25名 他6名
ICT化に伴うスマホを使つての便利な操作方法の講演
音声入力の方法、日程調整の活用方法の習得
(市川記)

■三者懇談会

令和6年3月12日(火) 18:30～20:15
於…文京区民センター2A
出席者…23名 他17名
ステップ押上新施設の概要について
(白石記)

■正副会長会議

令和6年2月1日(木) 18:30～19:50

於…文京区民センター4A
出席者…6名
能登災害支援金について
ステップ押上の建設費用募金について
社明運動実施予定日について
(伊藤記)

令和6年3月1日(金) 19:00～20:10
於…文京区民センター4A
出席者…9名
理事役員会・三者懇談会・合同班会について
(伊藤記)

令和6年4月1日(月) 18:30～20:00
於…文京区民センター4A
出席者…6名
総会の内容、次回理事会の内容検討
(伊藤記)

令和6年5月1日(水) 18:30～19:40
於…文京区民センター4A
出席者…8名
総会の役割確認、当日の進行について
(伊藤記)

令和6年3月28日(木) 18:30～19:50
於…大原地域活動センター2F
出席者…23名
令和5年度各部各班の事業会計報告
令和6年度各部各班の事業予定(伊藤記)

令和6年4月18日(木) 18:30～20:00
於…文京シビックセンター4F
出席者…20名 他3名
福祉政策課の新職員紹介と挨拶
令和5年度会計報告、監査報告(伊藤記)

■文京区社会を明るくする運動推進委員会

令和6年5月14日(火) 14:00～15:00
於…文京区民センター2A
出席者…2名
今年度の活動内容について
ポスター、チラシの選定
(亀田記)

■総務部会議

令和6年4月26日(金) 18:30～19:30
於…文京区民センター4A
出席者…14名
令和6年度総会の打合せ、役割検討
(伊藤記)

■広報部会議

令和6年3月1日(金) 18:30～19:45
於…文京区民センター2B
出席者…8名
情報582号校正及び会議
情報583号編集及び会議
(山田記)

令和6年3月22日(金) 13:00～15:00
於…文京シビックセンターシルバー会議室4A
出席者…9名 更女6名
情報582号発送及び会議
(山田記)

■富坂班会

令和6年3月5日(火) 19:40～20:00
於…文京区民センター3A
出席者…14名
事業報告と会計報告・事業計画と予算
次期世話人について
(山口記)

■大塚班会

令和6年3月7日(木) 18:30～19:30
於…大塚地域活動センター
出席者…10名

学校担当・世話人・今後の予定について

(西川記)

■本富士班会

令和6年3月14日(木) 18:30~20:10

於:根津ふれあい館

出席者:11名

事例発表・実華道場の現状

(根尾記)

■保護司が参加した行事

東京都保護司代表者協議会

令和6年3月19日(火) 13:30~15:45

於:東京保護観察所

出席者:2名

保護司自薦者への対応に関するガイドラインについて (伊藤記)

東京都保護司会連合会理事会・懇親会

令和6年3月19日(火) 15:50~19:00

於:東京保護観察所、法曹会館

出席者:2名

会則の変更・事業計画予算について (伊藤記)

東京都更生保護協会評議員会

令和6年3月26日(火) 14:00~15:15

於:東京保護観察所集団処遇室

事業計画、収支予算、定款変更について

(亀田記)

保護司会会計事務担当者運営連絡協議会

令和6年5月28日(火) 13:30~15:00

於:東京保護観察所集団処遇室

出席者:2名

今年度の組織活動費、関係機関との連携活動実施経費についての説明 (伊藤記)

■その他外郭団体への参加

薬物専門講師研修会

令和6年2月18日(日) 14:00~16:10

於:都庁第一本庁舎5階大会議場

(伊藤記)

文京アカデミー理事会

令和6年2月27日(火) 10:30~11:40

於:文京シビックセンターB1多目的室

(伊藤記)

令和6年5月13日(月) 14:00~15:30

於:文京シビックセンター3F

令和5年度事業報告等

(伊藤記)

文京区青少年問題協議会幹事会

令和6年2月27日(火) 18:30~19:30

於:文京シビックホール会議室1・2

出席者:2名他31名

(伊藤記)

文京区青少年問題協議会

令和6年3月4日(月) 18:30~19:30

於:文京シビックホール会議室1・2

子どもの権利擁護に関する条例の判定について他 (亀田記)

文京槐の会理事会

令和6年3月19日(火) 10:00~11:30

於:文京シビックセンター4F 障害者会館

C 事業計画、予算について

本部移転について (亀田記)

令和6年5月28日(火) 10:00~12:00

於:文京シビックセンター4F 障害者会館

館C

令和5年度事業報告・決算について

(亀田記)

文京区社会福祉協議会評議員会

令和6年3月22日(金) 13:30~14:30

於:文京区民センター2B

令和6年度事業計画、予算について

(亀田記)

文京さくらまつり式典

令和6年3月24日(日) 11:00~13:00

於:文京区播磨坂清掃事業所

開会の挨拶、祝辞、懇談

(亀田記)

文京区立小学校PTA連合会懇親会

令和6年5月16日(木) 19:00~20:30

於:文京区民センター3A

(亀田記)

文京区立中学校PTA連合会懇親会

令和6年5月20日(月) 18:30~20:15

於:文京区民センター3A

(亀田記)

日本緩和医療薬学会年会・区民公開講座

令和6年5月26日(日) 14:50~16:00

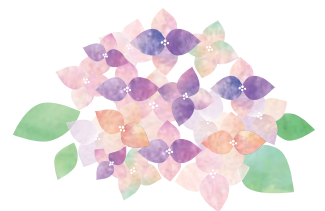
於:文京シビックホール小ホール

出席者:13名 他70名

講師:成瀬暢也氏・鈴木勉氏

薬物乱用防止活動について (伊藤記)

その他、区立小中学校の行事、学校運営協議会、学校運営連絡協議会等に出席



令和6年春の叙勲

瑞宝双光章 原田 実氏

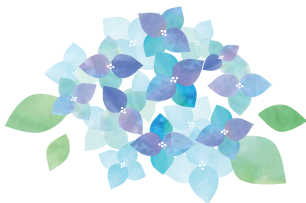
退任保護司

令和6年5月24日付

本富士班 坪井 節子氏

令和6年5月24日付

富坂班 小泉潤一郎氏



保護司・更生保護女性会・BBS会員・更生保護施設 四者連携強化研修に参加して

富坂地区 北條 みづ枝

2月22日、東京保護観察所で行なわれました。令和5年12月、更生保護法の一部が改正され、刑事司法の入口から地域で自立に至るまでの支援を切れ目なくつなげる「犯罪や非行からの立ち直りを支える息の長い支援」が求められており、各地域に応じた更生保護の活動をより一層充実したものとするために、四者の相互連携を更に深めることが重要となってきました。今回の事例紹介とグループワークを通して、今後の相互連携の効果的な活動推進を図る目的の研修でした。

江戸川区BBS会の令和5年度に実施した「四者合同勉強交流会」についての事例報告。保護司の声かけから、グループ内で今まで以上に各団体個々人がお互いに知ろうと勉強会が行なわれたことにより、多くの社会参加ができるようになり、BBS会員にとってグループを知ることができたとの発表がありました。

また第2ブロック（文京・台東・北・荒川）の協議では現状報告と今後に向けての話し合いが行なわれました。

今後に向けて、第2ブロック内で共通意識と情報交換の場として四者の協議会がつかれないだろうか、ネットワークをつくることでより早いニーズの対応ができるのではないか、などの意見が出ました。保護司の方を中心に是非立ち上げて頂けたらという感想を持ちました。また更生保護施設の見学も是非来て欲しいとのことでした。

令和5年度研修会 法務省見学に参加して

研修部 大木 紀代子



日時…令和6年2月27日（火）10…30
法務省赤レンガ棟法務史料室・メッセージギャラリーの見学、
キャピックショップでの買い物、昼食会

法務省と言えば赤レンガの建物で有名で全国各地から大勢の人達が見学にみえています。私も車で前を通る事はあっても法務省の中に入る機会が全くありませんでした。

今回の研修会が法務省との事で参加させて頂き、早速宝庫である3階の法務史料展示室にて閲覧してみると、学生時代に学んだ歴史上の人物、広沢真臣が襲わ



れた事件や板垣退助襲撃事件についての史料は特に生々しく展示されていました。他にも明治前期からの立法や刑事法等の告訴状や嘆願書などを含め、活動の史料が展示されていました。歴史上でしか知らなかった事実は何となく心地良い重圧を感じながら展示室での見学を終えました。

お昼は隣接している弁護士会館の地下のお店で、先輩の方々と美味しい和食を戴き解散になりました。

史料展示室をもう少し一生懸命に見れば良かったのかも？見ても難しく、読めなくてを言い訳にちよっぴり反省しています。



駒込班 岸田光央

天気予報をよくみる私ですが、例えば、「三月上旬」をキーワードとした場合、時期が二月ですと、「明日は三月上旬の暖かな一日になりそうです」となり、自分も、嬉しい気持ちになります。でも、これが、四月になると、「明日は、三月上旬の寒い一日になるでしょう」となり、「明日は寒いのかあ。はあ。嫌だな」となる私もいて、つくづく、自分は勝手だなあって。「三月上旬」って気候は何も悪くないのに、どうしても、自分都合中心の心で受け止めるからなんだよなって、毎年反省するのです。因みに、赤いメガネをかけて周りを見渡すと、周りの世界は赤く映ります。青いメガネをかけて見渡

すと青く映るのです。かけたメガネの色によって、みえる景色の色が変わります。僕は、心も同じだになって。

毎日の生活の中で、心に感謝やら、喜びやら、楽しみといったメガネをかけて、通っている、どんな状況の中にあっても、その中に小さな喜びを見つけた事が出来ます。毎日嬉しい楽しい心で通る「嬉しいしみ貯金」をしていると、最近も、いい事がありました。目的の地まで、信号ノンストップでたどり着きました。

皆さん御一緒に、毎日「嬉しいしみ貯金」をしてみませんか。

猫になりたい…

大塚班 水上幸夫

お嬢様タイプの三毛猫キヨンキヨン（7歳）、わんぱく娘のキシ白ナナ（5歳）の二匹の猫（保

護猫）と生活しています。

私だけを見てくれアピールが強いキヨンキヨンは、こちらが食事中でも背中の前足で「トント」「ブラッシング要求」「ブラッシング途中にナナが寄ってくる」と猫パンチ一撃で殴り合い勃発。1人遊びを得意とするナナは、ピロンポン玉を前足で上手にコントロールし走り回り、遊び途中に家具の下に入り込んだ玉を前足を器用に使い、取り出す姿。昼間、寝る事により体力を存分に蓄えて、夜中は、私達夫婦の寝室、リビング、物置部屋をナナの異様な鳴き声と共に、二匹の猫の凄まじい運動会が始まり、自由奔放に走り回る。

そんな二匹の猫が自らの思いのままに生きている姿を見て『猫になりたい…』と思う、今日この頃…



あとがき

令和六年度の『文京区保護司会総会』も無事終了することが出来、恙なく各活動が始まりました。またコロナ感染症も緩やかになって全世界の人々が心待ちにしているオリンピックイヤーを迎えることが出来ました。今年の夏はアスリートにとっても私たちにとっても心躍る日々になる事でしょう。そして、保護司活動の一大行事である『社会を明るくする運動』も同じ時期にやってきます。この運動においては改めて保護司としての活動の大切さに気づかされる時でもあります。目まぐるしく動く世の中で地道な努力を忘れる事無く日々を大切に過ごされている方々や事柄を皆様にお伝えできれば幸いです。今年度もよろしくお願いいたします。

根尾 英子

〈広報部〉 森山 堀内 山田 大橋 米岡
浅川 根尾 岸田 岡崎 西川
塩川 市原 菊川

情報 第五八三号

編集 文京区保護司会 広報部
発行人 文京区保護司会会長 亀田一良
事務局 文京区春日一―一六―二一
文京区役所福祉政策課内
印刷所 企画・宣伝協同組合
エコフィールド事業本部